

GIGAスクール構想のもとでの 高等学校地理歴史科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの高等学校地理歴史科の指導において ICTを活用する際のポイント

(1) 学び方や調べ方を大切にし、生徒の主体的な学習を一層重視

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第2節地理歴史
第3款の2 内容の取扱いについての配慮事項(4)

情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、**コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにすること。**その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、**情報モラルの指導にも留意**すること。

生徒が、自ら問題意識をもち、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集し、情報を読み取り、情報を分類・整理してまとめたりする学習活動の構成が大切である。

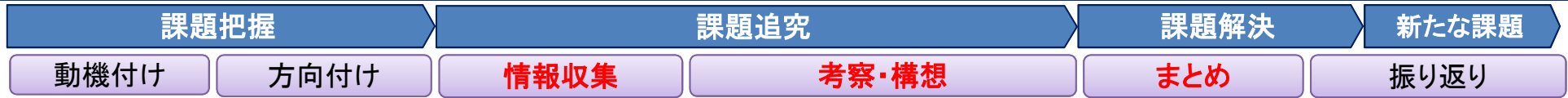
○環境の整備

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう、生徒が学習において日常的にICTを活用できる情報通信機器の使用環境の整備

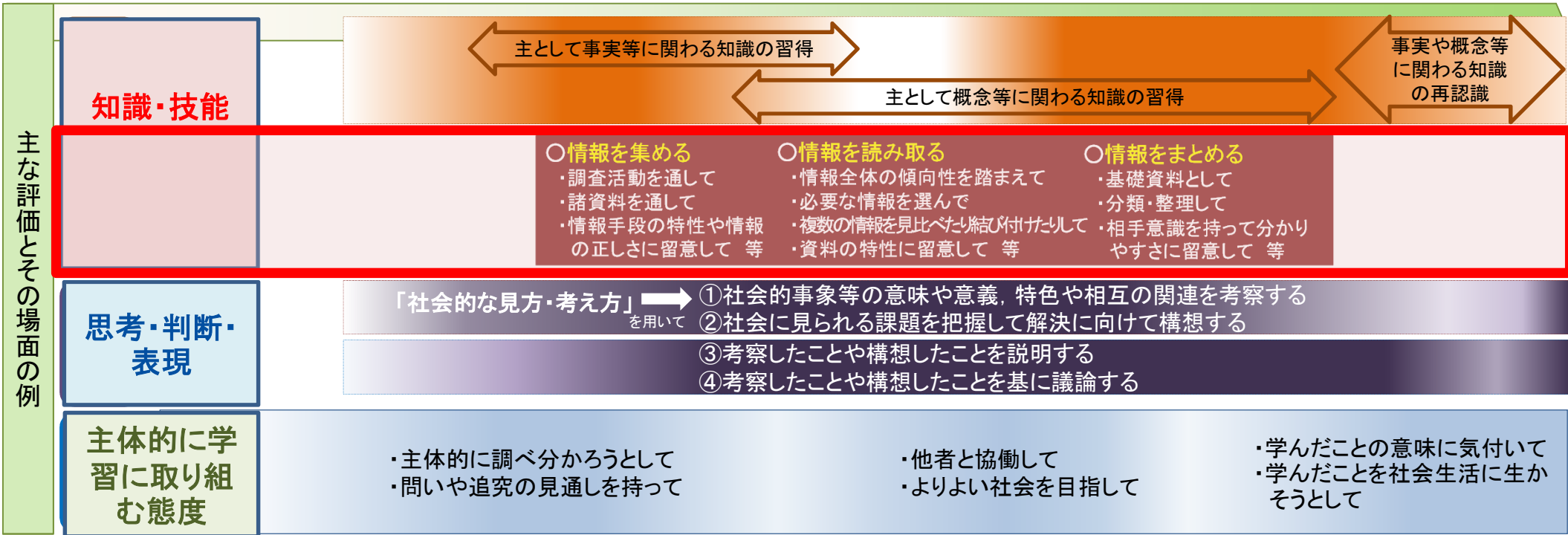
○指導上の留意点

- ・ ICTを活用した学習場面を想定し、単元を通した授業デザインの必要
- ・ 情報モラルの指導への留意
- ・ 課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにする指導

社会科，地理歴史科，公民科における学習過程のイメージ



主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習課題を設定する ・社会的事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決の見通しを持つ ・予想や仮説を立てる ・調査方法，追究方法を吟味する ・学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 予想や仮説の検証に向けて調べる ・学校外での観察や調査などを通して調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の児童生徒と情報を交換する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する ・多面的・多角的に考察する ・話し合う(討論等) ● 社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 考察したことや構想したことをまとめる ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について他の児童生徒と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習を振り返って考察する ・自分の調べ方や学び方結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い(課題)を見出したり追究したりする
----------	---	---	---	---	--	---



■ **学習過程全体について留意すべき点** ■

- ・上記の学習過程及び評価の場面は例示であり，上例に限定されるものではないこと
- ・主体的・対話的で深い学びを意図した，単元の構成の工夫等が望まれること
- ・社会的事象等については，児童生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示することなどが重要であること。その際，特定の事柄を強調しすぎたり，一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなど偏った取扱いにより，児童生徒が多面的・多角的に考察し，事実を客観的に捉え，公正に判断することを妨げるようなことのないよう留意すること。また，客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意すること

GIGAスクール構想のもとでの高等学校地理歴史科の指導において ICTを活用する際のポイント

(2) 「社会的事象等について調べまとめる技能」の育成

高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第2節地理歴史
第3款の2 内容の取扱いについての配慮事項(2)

調査や諸資料から、**社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動を重視**するとともに、**作業的で具体的な体験を伴う学習の充実**を図るようにすること。その際、地図や年表を読んだり作成したり、現代社会の諸課題を捉え、多面的・多角的に考察、構想するに当たっては、関連する各種の統計、年鑑、白書、画像、新聞、読み物、その他の資料の出典などを確認し、その信頼性を踏まえつつ適切に活用したり、観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ、発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

- 「**社会的事象等について調べまとめる技能**」を小学校社会科、中学校社会科、高等学校地理歴史科及び公民科の学習指導要領解説に共通して掲載
- 「社会的事象等について調べまとめる技能」を生徒に身に付けさせるため、**ICT機器を活用した学習活動のより一層の充実が求められる**

社会的事象等について調べまとめる技能

情報を収集する技能

等に段関を考するえ情て報を課を題収解集決するに必要技能な社会的事象

【1】調査活動を通して

- 野外調査活動
 - ・調査の観点(数, 量, 配置等)に基づいて, 現地の様子や実物を観察し情報を集める
 - ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し, 情報を集める
 - ・地図を現地に持って行き, 現地との対応関係を観察し, 情報を集める
- 社会調査活動
 - ・行政機関や事業者, 地域住民等を対象に聞き取り調査, アンケート調査などを行い, 情報を集める

【2】諸資料を通して

- 資料の種類
 - ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から, 位置関係や形状, 分布, 面積, 記載内容などの情報を集める
 - ・年表から, 出来事やその時期, 推移などの情報を集める
 - ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める
 - ・新聞, 図書や文書, 音声, 画像(動画, 静止画), 現物資料などから様々な情報を集める

○その他

- ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める
- ・博物館や郷土資料館等の施設, 学校図書館や公共図書館, コンピュータなどを活用して映像, 読み物や紀行文, 旅行経験者の体験記など様々な情報を集める
- ・**コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して, 目的に応じて様々な情報を集める**

【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して

- ・資料の表題, 出典, 年代, 作成者などを確認し, その信頼性を踏まえつつ情報を集める
- ・情報手段の特性に留意して情報を集める
- ・情報発信者の意図, 発信過程などに留意して情報を集める

情報を読み取る技能

え収方集にした沿った情て報をみ社会的取能見方考

【1】情報全体の傾向性を踏まえて

- ・位置や分布, 広がり, 形状などの全体的な傾向を読み取る
- ・量やその変化, 区分や移動などの全体的な傾向を読み取る
- ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から, 展示テーマの趣旨を読み取る

【2】必要な情報を選んで

- 事実を正確に読み取る
 - ・形状, 色, 数, 種類, 大きさ, 名称などに関する情報を読み取る
 - ・方位, 記号, 高さ, 区分などを読み取る(地図)
 - ・年号や時期, 前後関係などを読み取る(年表)
- 有用な情報を選んで読み取る
 - ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
 - ・諸情報の中から, 目的に応じた情報を選別して読み取る
- 信頼できる情報について読み取る

【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして

- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり, 結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
- ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
- ・同種の資料における異なる表現(複数の地図, 複数のグラフ, 複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る

【4】資料の特性に留意して

- ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る
- ・歴史資料の作成目的, 作成時期, 作成者を踏まえて読み取る
- ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る

情報をまとめる技能

に読向みけ取ったまと情報め報を技能題解決

【1】基礎資料として

- ・聞き取って自分のメモにまとめる
- ・地図上にドットでまとめる
- ・数値情報をグラフに転換する(雨温図など)

【2】分類・整理して

- ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる
- ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる
- ・位置や方位, 範囲などで整理して白地図上にまとめる
- ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる
- ・**情報機器を用いて, デジタル化した情報を統合したり, 編集したりしてまとめる**

【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して

- ・効果的な形式でまとめる
- ・主題に沿ってまとめる
- ・レイアウトを工夫してまとめる
- ・表などの数値で示された情報を地図等に変換する